

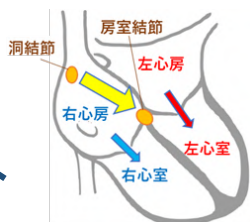
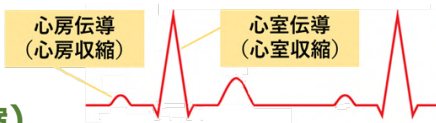
心室頻拍・心室細動 ブルガダ症候群



心臓は小さな発電所 ～電気で動く命のポンプ～

私たちの心臓は、電気の信号でリズムよく動いています。まるで小さな発電所のように、心臓の中で電気を作り、全身に血液を送るポンプの役目をしています。

心臓の電気を図にしたのが心電図です ▶



心房のはたらき (心房収縮)

心臓の電気は「洞結節」で生まれます。

その電気が心臓の上の部屋（右心房と左心房）に広がり、心房がギュッと縮み、血液を下の部屋（心室）へ送り込みます。



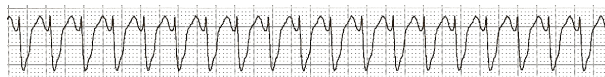
心室のはたらき (心室収縮)

電気は「房室結節」という関所を通して、上の部屋から下の部屋（右心室と左心室）に伝わります。

心室が力強く縮むことで「右心室→肺」「左心室→全身」へ血液が送り出されます。

命にかかわる不整脈 ～ 心室頻拍と心室細動とは

心室頻拍ってどんな状態？

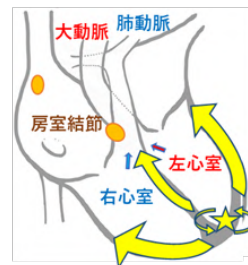


心室の中で異常な電気の流れが起きて、心臓がとても速く動く状態です。心室だけが勝手にバタバタ動いてしまい、血液の流れが低下してしまいます。

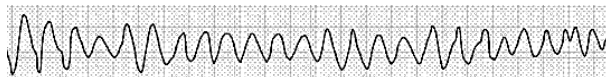
その結果…胸がドキドキして苦しくなったり

めまい・立ちくらみが起きたり

ひどい時は、血液がうまく送り出せず、意識を失って倒れることも
もともと心臓の力が弱っている人は、症状が強く出やすく、注意が必要です。

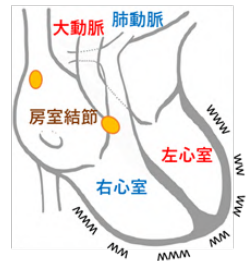


心室細動ってどんな状態？



心室が小刻みにブルブル震えて、まったく血液を送り出せなくなってしまい、心臓は動いているようで、心臓のポンプが完全に止まってしまう状態です。

この状態が数分続くと、脳や全身に血液が届かなくなり、命にかかわる非常に危険な状態（突然死）となります。



眠っている間に突然死!? ～ブルガダ症候群とは

遺伝子に関係する、見逃せない心臓病

若い男性でも…ふだん元気に見えても、就寝中や安静時に心臓の電気に異常が起こり、突然心臓が止まってしまうことがある病気です。心電図でわかることがあります。

どんな人が…家族に突然死の人がいる

過去に気を失ったことがある

夜に呼吸が止まるような感覚やけいれんがあった

見逃さないで！ 早めの気づきが命を守ります

そのドキドキ、恋ではないかも…

「疲れかな？」「年のせいかも…」といませんか？

めまい、動悸、気を失う（気が遠くなる・引き込まれるような感覚）などの症状は、心臓の異常のサインかもしれません。

特に、家族に突然死の人がいる方は、若くても心電図検査を受けてみるのが大切です。

心臓が弱っている方、心筋梗塞や心不全になったことがある方、心筋症や弁膜症と言われたことがある方は、定期的に検査を受けましょう。

今は治療があります！！

命を守る小さなガードマン ～ ICD（植込型除細動器）～

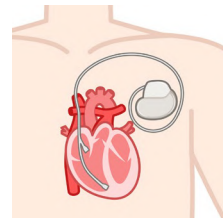
ICDは体の中に入れる小さな電気ショック装置です。

致死的な不整脈が起きると、自動で治療を行ってくれます。

突然死のリスクが高い人に使われる特別な医療機器です。

電磁波の影響に注意しながら日常生活はほぼ普段通りできます。

医師の指示に従って定期チェックを受けましょう。



知っていれば、助かる命も

AEDは、ショッピングモールや駅、学校、コンビニなどにも設置されています。

心臓が突然止まった時、**1秒でも早く始める心臓マッサージとAED（自動体外除細動器）**が命を救います。一次救命処置（心肺蘇生法）は救急隊につなげる命のバトンです。

いざという時に一次救命処置とAEDできますか？

心臓マッサージをする場所は
「胸の真ん中」が目安



みんな離れて！！

強く	胸が、少なくとも5センチメートル沈むように 小児・乳児は胸の厚さの約1/3
速く	1分間あたり、100～120回のテンポで
絶え間なく	中断は、最少に

除細動ボタンを押すときは…

「みんな離れて」と声を出し、
手振りも使って離れるように指示します。

生活で気をつけること

発作を防ぐための生活の工夫も大切です。

脱水を防ぐ：水分はこまめに。特に夏場や入浴前後に注意。

高熱は危険信号：熱が出たら早めに解熱を。

薬に注意：いつもの薬はしっかり服薬。新しい薬（風邪薬や胃薬）を飲む前に、相談を。

命を守るためにできること

かかりつけの医師に相談しましょう。必要があれば、専門の病院を紹介してくれます。

気になる症状は、がまんせずに相談を。家族に突然死の人がいれば、心電図を。

心肺蘇生や、AEDの使い方を学びましょう。

脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび脳卒中・心臓病等相談支援窓口では脳卒中や心臓病についてのお悩みの相談に乗っています。お気軽にお越しください。メール、電話などでお問い合わせいただけましたら幸いです。

e-mail: sc-shien@kufm.kagoshima-u.ac.jp 電話番号：099-275-6895